

令和 7 年 9 月 8 日

令和 7 年度 学校運営協議会実施報告書

協議会名		大田区立矢口小学校学校運営協議会
日時		令和 7 年 9 月 8 日（水）18：00～20：00
場所		大田区立矢口小学校
出席者	委員	木下 邦太朗 藏方 英明 角田 政春 藏方 庸光 塩澤 一好 藏方 玲子 白井 雅世 森田 雄介 新倉 節子 早乙女 綾子 小林 和明 田邊 勝博 飛田 真紀子 関 真理子
	委員 以外	教育総務課 地域力推進センターコーディネーター 和光 聡 出口 芳子 近 誠
議題		○矢口小学校の研究・研修について ○学校・児童の様子、今後の予定について ○やぐち応援隊、スマイルネット活動報告（サマーワークショップ） ○意見交換
協議内容 要旨		協議 結果 ◎矢口小学校令和 7 年度研究・研修について（研究主任 近 誠） ・教員の困りごとや悩みを共有した上で、効果的な研究・研修を計画し、研究 タ会（毎週火曜日）を行い、授業力向上に向けて学び合っている。 ・提案授業として、児童の話し合いを中心とした学習を校内研究会として実施 し、関連資料を各学級の授業改善に活用している。 ・信頼ベースの学級経営を推進している。指導の際は、「叱る」や「怒る」では なく、教員の言葉で熱意を込めて伝えること、ほめ言葉でこどもの心を伸ば すことに学校全体で取り組んでいる。 ◎会長挨拶（会長 木下 邦太朗 様） ・暑い毎日だが、夏休みも子どもたちは、サマーワークショップなどに参加し、 貴重な経験を通して成長している。議題について、実りある協議を行いまし ょう。 ◎校長挨拶（校長 関 真理子） ・工事の関係で矢口文化芸術劇場を 1 学期に実施した。難しい時期となったが、 児童は表現活動に力を発揮することができた。大田区学習効果測定の結果 は、優れている点があり、これからも伸ばしていく。弱い点については、分 析結果を指導に生かしていく。 ・夏休みのサマーワークショップでは、地域や保護者の皆様の見守りの中、41 講座に多数の児童が参加した。 ・2 学期始業式には、各学級の担任が子どもたちへの熱いメッセージを黒板に 書き、温かく迎えていた。 ・研究授業や学校訪問、運動会等、授業を公開している際には、ぜひ、ご参観 いただきたい。

	◎サマーワークショップについて（事務局長 五月女 綾子 様） ・夏休みの17日間に27ショップ（41講座）を実施した。 ・欠席者が百名を超え、無断欠席や持ち物等が揃わないことが多くあった点を改善することが難しい。ぜひ御提案いただきたい。 ・発起人である清水一豊先生からのメッセージを紹介。（校長） ◎学校運営協議会年間計画について（矢口小学校にて、18時開始） 第4回…11月8日（土）運動会の参観・感想（取組成果や今後の課題） 第5回…2月24日（火）次年度計画の提案等 第6回…3月 紙面にて（学校評価のまとめ）
意見概要	◎意見交換 ・サマーワークショップを無事終えることができた。矢口の地域力の賜物である。学校は、こどもたちのために真剣に取り組んでおり、こどもたちは幸せだと思う。三位一体で頑張っていきたい。（蔵方副会長） ・6月より委員を務めています。本日より協議にも参加します。（新倉委員） ・夏休みになると、サマーワークショップの講座に申し込んだことを、保護者がすっかり忘れてしまっていることがある。（田邊委員） ・サマーワークショップのスケジュールを組むことは、とても困難な状況である。こどもの笑顔に支えられ、頑張っている。（五月女委員） ・毎朝、こどもたちを見守っている。暑さのせいかも知れないが、2学期の始めは、「学校に行くのが嫌だ。」という声を聞くことがあった。先生たちも大変だろうと思う。問題を起こす教員のニュースのせいで、先生方の気苦労が多いのではないかと心配している。（蔵方（玲）委員） ・学校運営協議会委員交流会にぜひ参加してください。（和光 聡 様） ・先生という職は、何から何まで考えなければならないことが分かり、大変だと思う。1学期は、安方商店街のお祭りに参加してもらった。10月末にハロウィーンイベントや6年生の授業連携を行う。（森田委員） ・主役はこどもたちであり、黒子として地域の基盤作りを担っていきたい。（飛田委員） ・1年前に登校の見守りをしていた蔵方（玲）委員との出会いから矢口小学校の小さな親切運動が始まった。教育の中で平和をつないでいく活動を行っている。バレーボールの石川祐希選手の出身校は、素晴らしい挨拶を実践している学校であることを知り、入学を決めたという話を聞いた。矢口小の「あいさつ日本一」に向けた運動にも期待したい。（小林委員） ・盆踊りの参加者は多いが、ラジオ体操は参加児童が年々減っている。盆踊りでは、会場を横切れないとの苦情があった。（蔵方（庸）委員） ・ラジオ体操は、町会が発足したときから続いている。今年の夏休みは、参加児童が少なかった。6年生を中心に当日の準備や体操の模範を示すようにしているが、参加者が少ない。1回目の参加児童と継続して参加することを約束して、取り組ませている。人数が少ないので責任をもって参加していた。

		次年度は、夏休み前に四町会合同でラジオ体操への参加を児童に呼びかけた。ラジオ体操に張り合いがあると思えるような活動にしていく。(塩澤委員) ・ジュニアリーダー育成交流会・講習会等、活発に活動している。矢口小学校のこどもたちは楽しく学んでいると思う。(角田委員) ◎終わりの言葉(会長 木下 邦太朗 様) ・学校のため、こどものために協議いただき、素晴らしい地域であると感じた。今後も、こどもや家庭の変化に応じて進めていくことになる。 ・学校では、研究主任を中心として、若手を育てる研究・研修を充実させていることが分かった。校長が教員をほめる姿も素晴らしい。 ・現在まで継承しているサマーワークショップは、こどもたちの活動の受け皿として、矢口小学校から始まった。ぜひ、来年度も五月女委員を中心によりしくお願いする。 ・「薫泉学校」以来の開校 150 周年記念行事も念頭において協議を深めていく。
協議資料		・学校の様子について ・指導訪問実施計画書、校内 OJT の取組について、年間行事予定 ・学校運営協議会交流会実施について ・広報誌「小さな親切」夏号
備考		傍聴者： 0 名(内訳： 0 名)